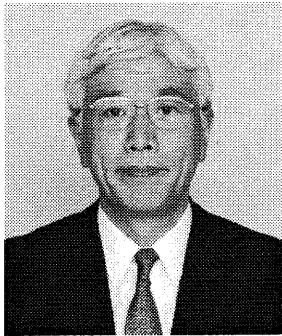


開会の挨拶

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/5576

はじめに



金沢大学長
林 勇二郎

石川県・金沢市は藩政時代より独自の伝統と文化を育み、白山、能登半島、資源豊かな日本海など恵まれた自然環境の中で、日本海側の主要な学術文化都市として発展してきました。全国的にもまれに見る多数の高等教育機関の存在も、このような歴史と文化を反映していると思います。

21世紀は知識基盤社会の形成が問われていますが、そこには知識や情報が政治・経済などのあるゆる社会活動の基盤となること、そしてこのような地域社会こそグローバル化の進む中で個性をもって発展するとの期待があるからと言えましょう。

公開市民講座「日本海的环境と石川の食文化」が金沢大学 21世紀 COE、いしかわ大学連携促進協議会（いしかわシティカレッジ）、いしかわ国際協力研究機構の共催で開催されますことは誠に時宜を得たものです。日本を含む東アジアは、政治・経済・文化などあらゆる面で多様性を有していますが、この多様性を維持して発展するには、この地域が抱える人口、食糧、環境などの共通の問題を、新しい知の情報として積極的に発信し続けることが高等教育機関に求められています。

石川県における研究・教育の発展に貢献する組織がそれぞれの特色を生かし、参加される県民・市民に日本海的环境と石川の食文化についての研究成果・知見を分かりやすく伝えることを期待します。